

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2019年4月4日、株式会社クリーク・アンド・リバー社は、2019年2月期通期決算を発表した。

四半期業績推移

四半期業績 (累計) (百万円)	18年2月期				19年2月期				19年2月期 (進捗率) 通期会予	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
売上高	7,686	14,179	20,296	26,709	7,367	14,819	22,084	29,569	100.2%	29,500
(前年比)	17.5%	6.8%	1.4%	0.5%	-4.1%	4.5%	8.8%	10.7%		10.5%
売上総利益	2,860	5,464	7,811	10,168	3,087	5,891	8,613	11,366		
(前年比)	19.8%	13.8%	10.6%	10.1%	7.9%	7.8%	10.3%	11.8%		
売上総利益率	37.2%	38.5%	38.5%	38.1%	41.9%	39.8%	39.0%	38.4%		
販管費	2,099	4,219	6,324	8,361	2,313	4,626	7,220	9,787		
(前年比)	8.6%	11.4%	10.8%	9.7%	10.2%	9.7%	14.2%	17.1%		
売上高販管費比率	27.3%	29.8%	31.2%	31.3%	31.4%	31.2%	32.7%	33.1%		
営業利益	761	1,246	1,487	1,806	774	1,265	1,393	1,579	81.0%	1,950
(前年比)	67.6%	23.1%	10.2%	12.2%	1.7%	1.5%	-6.3%	-12.6%		8.0%
営業利益率	9.9%	8.8%	7.3%	6.8%	10.5%	8.5%	6.3%	5.3%		6.6%
経常利益	766	1,254	1,483	1,825	770	1,256	1,392	1,585	81.3%	1,950
(前年比)	80.6%	32.4%	18.2%	23.5%	0.6%	0.2%	-6.1%	-13.1%		6.9%
経常利益率	10.0%	8.8%	7.3%	6.8%	10.5%	8.5%	6.3%	5.4%		6.6%
四半期純利益	460	734	869	1,104	455	738	811	970	84.3%	1,150
(前年比)	103.0%	40.3%	21.3%	23.7%	-1.1%	0.6%	-6.6%	-12.1%		4.2%
四半期純利益率	6.0%	5.2%	4.3%	4.1%	6.2%	5.0%	3.7%	3.3%		3.9%

四半期業績 (百万円)	18年2月期				19年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,686	6,494	6,116	6,413	7,367	7,452	7,265	7,485
(前年比)	17.5%	-3.6%	-9.2%	-2.3%	-4.1%	14.8%	18.8%	16.7%
売上総利益	2,860	2,604	2,347	2,356	3,087	2,804	2,722	2,753
(前年比)	19.8%	7.9%	3.9%	8.4%	7.9%	7.7%	16.0%	16.9%
売上総利益率	37.2%	40.1%	38.4%	36.7%	41.9%	37.6%	37.5%	36.8%
販管費	2,099	2,119	2,106	2,037	2,313	2,313	2,594	2,567
(前年比)	8.6%	14.2%	9.6%	6.4%	10.2%	9.1%	23.2%	26.0%
売上高販管費比率	27.3%	32.6%	34.4%	31.8%	31.4%	31.0%	35.7%	34.3%
営業利益	761	485	241	319	774	491	128	186
(前年比)	67.6%	-13.1%	-28.6%	22.6%	1.7%	1.4%	-47.0%	-41.7%
営業利益率	9.9%	7.5%	3.9%	5.0%	10.5%	6.6%	1.8%	2.5%
経常利益	766	489	229	342	770	486	135	193
(前年比)	80.6%	-6.6%	-25.6%	52.9%	0.6%	-0.6%	-40.8%	-43.4%
経常利益率	10.0%	7.5%	3.7%	5.3%	10.5%	6.5%	1.9%	2.6%
四半期純利益	460	274	135	235	455	284	73	158
(前年比)	103.0%	-7.6%	-30.0%	33.2%	-1.1%	3.5%	-45.9%	-32.5%
四半期純利益率	6.0%	4.2%	2.2%	3.7%	6.2%	3.8%	1.0%	2.1%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

*四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益。

セグメント別四半期業績推移

四半期業績推移 (累計)		18年2月期				19年2月期			
(百万円)		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
売上高		7,686	14,179	20,296	26,709	7,367	14,819	22,084	29,569
(前年比)		17.5%	6.8%	1.4%	0.5%	-4.1%	4.5%	8.8%	10.7%
クリエイティブ分野 (日本)		4,828	9,385	14,090	19,102	5,303	10,729	16,349	22,213
(前年比)		23.6%	16.8%	11.3%	11.8%	9.8%	14.3%	16.0%	16.3%
クリエイティブ分野 (韓国)		985	985	986	986	0	7	26	32
(前年比)		23.2%	-38.8%	-59.5%	-70.1%	-	-99.3%	-97.4%	-96.8%
医療分野		1,144	2,307	2,930	3,558	1,182	2,328	3,063	3,709
(前年比)		6.0%	6.4%	6.1%	7.5%	3.3%	0.9%	4.6%	4.2%
会計・法曹分野		443	910	1,366	1,807	493	942	1,440	1,952
(前年比)		-	-	-	-	11.2%	3.5%	5.4%	8.1%
その他		324	670	1,070	1,458	442	946	1,399	1,881
(前年比)		-	-	-	-	36.5%	41.2%	30.8%	29.0%
消去または全社		-38	-78	-145	-201	-53	-134	-193	-217
営業利益		761	1,246	1,487	1,806	774	1,265	1,393	1,579
(前年比)		67.6%	23.1%	10.2%	12.2%	1.7%	1.5%	-6.3%	-12.6%
クリエイティブ分野 (日本)		367	539	821	1,155	414	649	840	1,072
(前年比)		120.4%	25.3%	1.5%	6.7%	12.8%	20.4%	2.4%	-7.2%
クリエイティブ分野 (韓国)		7	5	5	3	-6	-11	-12	-32
(前年比)		-	-	-55.8%	-85.0%	-	-	-	-
医療分野		379	666	582	575	365	638	600	533
(前年比)		37.4%	21.3%	20.2%	32.8%	-3.9%	-4.1%	3.2%	-7.3%
会計・法曹分野		34	73	121	148	40	43	80	146
(前年比)		-	-	-	-	17.7%	-40.9%	-33.7%	-1.1%
その他		-25	-38	-40	-83	-29	-41	-108	-150
(前年比)		-	-	-	-	-	-	-	-
消去または全社		-1	0	-1	8	-10	-14	-8	9
経常利益		766	1,254	1,483	1,825	770	1,256	1,392	1,585
(前年比)		80.6%	32.4%	18.2%	23.5%	0.6%	0.2%	-6.1%	-13.1%
四半期純利益		460	734	869	1,104	455	738	811	970
(前年比)		103.0%	40.3%	21.3%	23.7%	-1.1%	0.6%	-6.6%	-12.1%

四半期業績推移 (3ヵ月)		18年2月期				19年2月期			
(百万円)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		7,686	6,494	6,116	6,413	7,367	7,452	7,265	7,485
(前年比)		17.5%	-3.6%	-9.2%	-2.3%	-4.1%	14.8%	18.8%	16.7%
クリエイティブ分野 (日本)		4,828	4,557	4,705	5,012	5,303	5,426	5,619	5,864
(前年比)		23.6%	10.4%	1.6%	13.3%	9.8%	19.1%	19.4%	17.0%
クリエイティブ分野 (韓国)		985	0	0	0	0	7	19	6
(前年比)		23.2%	-	-	-	-	-	-	-
医療分野		1,144	1,163	623	628	1,182	1,145	735	645
(前年比)		6.0%	6.7%	5.2%	14.2%	3.3%	-1.5%	18.1%	2.8%
会計・法曹分野		443	467	456	441	493	449	498	512
(前年比)		-	-	-	-	11.2%	-3.8%	9.3%	16.2%
その他		324	346	400	388	442	504	453	482
(前年比)		-	-	-	-	36.5%	45.5%	13.3%	24.2%
消去または全社		-38	-39	-67	-56	-53	-80	-59	-24
営業利益		761	485	241	319	774	491	128	186
(前年比)		67.6%	7.9%	134.6%	90.7%	1.7%	1.4%	-62.2%	-28.5%
クリエイティブ分野 (日本)		367	172	281	335	414	236	191	232
(前年比)		120.4%	-34.7%	-25.6%	21.9%	12.8%	36.7%	-32.1%	-30.7%
クリエイティブ分野 (韓国)		7	-2	-1	-2	-6	-5	0	-21
(前年比)		-	-	-	-	-	-	-	-
医療分野		379	287	-85	-6	365	274	-38	-67
(前年比)		37.4%	5.0%	-	-	-3.9%	-4.5%	-	-
会計・法曹分野		34	39	47	27	40	3	37	66
(前年比)		-	-	-	-	17.7%	-91.3%	-22.6%	143.3%
その他		-25	-13	-2	-43	-29	-13	-67	-42
(前年比)		-	-	-	-	-	-	-	-
消去または全社		-1	1	-1	9	-10	-4	5	18
経常利益		766	489	229	342	770	486	135	193
(前年比)		80.6%	-6.6%	-25.6%	52.9%	0.6%	-0.6%	-40.8%	-43.4%
四半期純利益		460	274	135	235	455	284	73	158
(前年比)		103.0%	-7.6%	-30.0%	33.2%	-1.1%	3.5%	-45.9%	-32.5%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

*四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益。

*前年比は1,000%を超える場合は-と表示。

*2019年2月期第1四半期以降、従来その他に含まれていた会計・法曹分野を報告セグメントとして独立した。

連結領域別業績推移

四半期業績 (累計) (百万円)	18年2月期				19年2月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
売上高	7,686	14,179	20,296	26,709	7,367	14,819	22,084	
前年比	17.5%	6.8%	1.4%	7.2%	-4.1%	4.5%	8.8%	
TV/映像	1,368	2,566	4,161	5,529	1,370	2,786	4,240	
前年比	-	6.2%	13.6%	10.6%	0.2%	8.5%	1.9%	
構成比	17.8%	18.1%	20.5%	20.7%	18.6%	18.8%	19.2%	
ゲーム	1,553	3,077	4,323	5,929	1,635	3,408	5,256	
前年比	-	33.9%	20.0%	19.3%	5.3%	10.8%	21.6%	
Web	1,537	2,935	4,303	5,742	1,702	3,230	4,814	
前年比	-	7.3%	5.4%	5.9%	10.7%	10.1%	11.9%	
医療	1,145	2,297	2,902	3,526	1,171	2,312	3,026	
前年比	-	6.1%	5.1%	6.1%	2.3%	0.6%	4.2%	
会計	400	808	1,218	1,603	435	830	1,303	
前年比	-	10.7%	10.6%	7.7%	8.8%	2.7%	7.0%	
電子書籍・版權	-	-	-	1,148	383	845	1,303	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
営業利益	761	1,246	1,487	1,806	774	1,265	1,393	
前年比	67.6%	23.1%	10.2%	53.4%	1.7%	1.5%	-6.3%	
TV/映像	161	222	274	325	48	86	187	
前年比	-	15.4%	-3.5%	-16.9%	-70.1%	-61.2%	-31.8%	
営業利益率	11.7%	8.6%	6.6%	5.9%	3.5%	3.1%	4.4%	
ゲーム	167	304	489	695	221	391	581	
前年比	-	48.0%	28.5%	24.5%	32.2%	28.6%	18.7%	
営業利益率	10.8%	9.9%	11.3%	11.7%	13.5%	11.5%	11.1%	
Web	131	216	259	329	154	224	345	
前年比	-	6.5%	-6.9%	-16.7%	17.6%	3.9%	33.5%	
営業利益率	8.5%	7.3%	6.0%	5.7%	9.0%	6.9%	7.2%	
医療	379	666	577	571	360	603	578	
前年比	-	21.3%	19.1%	31.8%	-5.1%	-9.5%	0.2%	
営業利益率	33.1%	29.0%	19.9%	16.2%	30.7%	26.1%	19.1%	
会計	27	49	92	112	36	29	85	
前年比	-	37.2%	26.5%	10.4%	33.6%	-40.1%	-7.8%	
営業利益率	6.7%	6.0%	7.6%	7.0%	8.2%	3.5%	6.5%	
法曹	7	25	28	34	4	11	-	
前年比	-	23.1%	4.7%	-26.5%	-43.5%	-54.3%	-	
電子書籍・版權	-	-	-	90	57	114	175	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
営業利益率	-	-	-	7.9%	14.9%	13.5%	13.5%	
他	-119	-194	-232	-352	-106	-195	-559	

四半期業績 (百万円)	18年2月期				19年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,686	6,494	6,116	6,413	7,367	7,452	7,265	
前年比	17.5%	-3.6%	-9.2%	1.3%	-4.1%	14.8%	18.8%	
TV/映像	1,368	1,198	1,594	1,368	1,370	1,416	1,454	
前年比	-	-	27.9%	2.5%	0.2%	18.1%	-8.8%	
ゲーム	1,553	1,524	1,246	1,606	1,635	1,773	1,848	
前年比	-	-	-4.6%	17.4%	5.3%	16.3%	48.3%	
Web	1,537	1,398	1,368	1,440	1,702	1,529	1,584	
前年比	-	-	1.5%	7.5%	10.7%	9.4%	15.8%	
医療	1,145	1,152	605	623	1,171	1,140	714	
前年比	-	-	1.2%	11.2%	2.3%	-1.0%	17.9%	
会計	400	409	410	385	435	395	473	
前年比	-	-	10.5%	-0.8%	8.8%	-3.3%	15.5%	
電子書籍・版權	-	-	-	-	383	462	458	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
営業利益	761	485	241	319	774	491	128	
前年比	67.6%	-13.1%	-28.6%	90.7%	1.7%	1.4%	-47.0%	
TV/映像	161	61	52	52	48	38	101	
前年比	-	-	-43.1%	-52.2%	-70.1%	-37.8%	94.0%	
営業利益率	11.7%	5.1%	3.3%	3.8%	3.5%	2.7%	6.9%	
ゲーム	167	137	185	206	221	170	190	
前年比	-	-	5.7%	15.8%	32.2%	24.2%	2.5%	
営業利益率	10.8%	9.0%	14.9%	12.8%	13.5%	9.6%	10.3%	
Web	131	85	43	70	154	70	122	
前年比	-	-	-42.9%	-39.9%	17.6%	-17.4%	181.2%	
営業利益率	8.5%	6.1%	3.2%	4.9%	9.0%	4.6%	7.7%	
医療	379	287	-90	-6	360	244	-25	
前年比	-	-	38.1%	-87.9%	-5.1%	-15.3%	-	
営業利益率	33.1%	25.0%	-	-	30.7%	21.4%	-	
会計	27	22	44	20	36	-6	56	
前年比	-	-	16.4%	-30.7%	33.6%	-129.6%	28.1%	
営業利益率	6.7%	5.4%	10.6%	5.1%	8.2%	-	11.8%	
法曹	7	18	3	6	4	8	-11	
前年比	-	-	-50.6%	-69.2%	-43.5%	-58.4%	-	
電子書籍・版權	-	-	-	-	57	57	62	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
営業利益率	-	-	-	-	14.9%	12.3%	13.5%	
他	-119	-76	-38	-120	-106	-89	-364	

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

*領域別の売上高、営業利益は同社資料の構成比率をもとにSR社算出。

季節性：株式会社メディカル・プリンシプル社の売上は、医師の異動時期によって4月を中心として他にも7月、10月に集中するため、四半期毎の売上高の大小としては、2-4月期>5-7月期>8-10月期>11-1月期となりやすい。一方、経費は売上に比して四半期毎の変動が少ないため、2-4月期に営業利益が集中し、8-10月期、11-1月期は営業損失を計上する傾向となる。メディカル・プリンシプル社は決算月が異なっているため、連結決算上、医療分野の収益は、第1四半期：2-4月期、第2四半期：5-7月期、第3四半期：8-10月期、第4四半期：11-1月期として計上される。これらの結果、同社の連結ベースの営業利益は第1四半期、第2四半期が高く、第3四半期、第4四半期が低くなる傾向がある。

2019年2月期通期実績

- ▷ 売上高：29,569百万円（前期比10.7%増）
 - ▷ 営業利益：1,579百万円（同12.6%減）
 - ▷ 経常利益：1,585百万円（同13.1%減）
 - ▷ 親会社株主に帰属する当期純利益：970百万円（同12.1%減）
-
- ▷ 売上高はクリエイティブ分野（日本）を中心に好調に推移し、クリエイティブ分野（韓国）を除く全セグメントが増収となった。前期第2四半期において同社孫会社であるCREEK & RIVER ENTERTAINMENT Co., Ltd.が連結子会社から持分法適用関連会社に異動したことによるマイナス要因を吸収し、過去最高の売上高となった。
 - ▷ 利益面については、売上総利益は増収に伴い増益となったが、営業利益以下の各利益は販管費の増加によって前期を下回った。販管費の増加は、2018年10月に東京エリアにおけるグループ拠点の移転・集約を実施したことによる一時費用や、人員増加に伴う退職給付引当金の計上方法の変更による一時的費用、新たに設立や子会社化した新規事業への投資等による。

セグメント別の概況は以下の通りであった。

なお、当第1四半期より、従来「その他」に含まれていた「会計・法曹分野」については、事業規模が拡大したため報告セグメントとして独立した。

クリエイティブ分野（日本）

- ▷ 売上高：22,213百万円（前期比16.3%増）
- ▷ 営業利益：1,072百万円（同7.2%減）

売上高は前期を上回った。利益面では、東京エリアにおける拠点の移転・集約による一時的な費用、人員増加に伴う退職給付引当金の計上方法の変更による一時的費用、新規エージェンシー事業の立ち上げ、2018年7月の株式会社クレイテックワークス子会社化に伴う販売管理費の増加によって、減益となった。ただし、一時的な費用を除けば、制作スタジオで利益率の高い制作受託案件が増加したことに加え、人材派遣等のエージェンシー事業が伸長した。また、新規事業についても収益化に向けた事業基盤の整備が進展した。

映像・TV・映像技術関連分野

- ▷ 制作スタジオを中心にテレビ番組の企画・制作力を強化し、バラエティ、情報、ドキュメンタリー等地上波、BS番組の需要増に対応する他、動画配信サービスコンテンツへの取り組みを積極的に推進した。
- ▷ TVディレクター育成講座開催や日本全国の放送局をネットワーク化する等、サービスを拡充し、TV番組の制作スタッフ数が増加した。また、映像業界に特化した求人情報サイト「映像ごとドットコム」（2017年8月開設）からの採用も伸長した。

- ▷ 2017年10月に、TV局とのネットワークと当社が培ってきた撮影実績を活かし、全国ドローンサービスを開始した。ドローンパイロット、エンジニア、空撮を熟知したカメラマン、ディレクター等をネットワーク化し、映像の企画制作から撮影・中継・編集・3D化、地方自治体や大学等との連携などを行う。

YouTube「オンラインクリエイターズ（OC）」の運用

- ▷ YouTuberによりアップロードされた動画の再生回数が堅調に推移した他、企業やTV番組のYouTubeチャンネルの運用受託が増加した。
- ▷ 2018年5月には、戦略的パートナーである東芝デジタルソリューションズ株式会社が保有するAI「RECAIUS™（リカイアス）」の音声合成技術を活用して、YouTuberに代わって外国語チャンネル運営を開始した。キッズ向け動画の人気YouTuber「キッズライン Kids Line」の英語版サブチャンネル「Kids Line World」を開設運営する等、国内YouTuberに新たな収益化への取り組みを提示し、チャンネル数の拡大を図った。さらに、同技術を活用して海外の人気YouTubeチャンネル「WatchMojo.com」と共同でサブチャンネルの共同運営を開始した。
- ▷ 移転した新オフィス内に動画コンテンツ制作用の「OCスタジオ」を開設し、VTuber等への対応も強化する等、動画市場への取り組みを加速した。

ゲーム分野

- ▷ 制作スタジオにおいて、制作受託案件や、韓国の現地法人CREEK & RIVER KOREA Co., Ltd.など海外と連携した共同開発、IPを活用した自社開発、他社コンテンツとコラボレーションしたイベントを開催した。
- ▷ 制作スタジオでは、ゲームの演出効果を高める「VFX」や世界観を左右する「シナリオ」等、ゲーム開発の中心となる人員が所属し、コンシューマー、アミューズメント、ソーシャル分野の受託開発や運営を行った。また、制作スタジオを核として、「クリエイティブ・アカデミー」や「TECH STADIUM」といった業界未経験者のための育成機関を設立し、人手不足と言われるゲーム業界のニーズに対応した。
- ▷ 2018年7月には、シリコンスタジオ株式会社から新設分割によりコンテンツ事業の一部を継承した株式会社クレイテックワークスを、株式取得により連結子会社化した。クレイテックワークス社は、ゲームコンテンツ開発における高い技術力を有しており、同社のクリエイティブ・ノウハウとの融合を進めるとしている。
- ▷ また、eスポーツなどのイベント事業への取り組みも強化した。2018年8月に社会人限定の格闘ゲーム大会「〈激突空間〉企業対抗格ゲートーナメント2018夏」を主催した他、2018年12月には80社の参加企業を集め、「ポケモンカードゲーム企業対抗戦」を株式会社ポケモンと共同開催した。その他、アニメやゲームなどのコンテンツとのコラボレーションイベント「アトラクションフェスタ」を首都圏各所で開催し、知財流通とイベント運営という新たな収益モデルを模索した。

VRへの取り組み

- ▷ 連結子会社である株式会社VR JapanとIDEALENS社のVRゴーグルを活用した「VR遠隔医療教育通信システム」などのコンテンツ配信システムの開発を行った。また、企業教育研修やアミューズメント施設をはじめ、ホテルや観光施設、イベントや展示会などビジネス領域においてハードからコンテンツまで一貫したソリューションの提供を進め、実績を積み重ねた。

Web分野

- ▷ Web業界、広告業界および出版業界に特化した業界最大級の求人情報サイト「Webist（ウェビスト）」によりWebクリエイターの採用とネットワークを強化し、エージェンシー事業が伸長した。
- ▷ 2016年2月期に拡張したWebスタジオにおいて、官公庁等の大規模Webサイトの制作案件が増加した。
- ▷ また、AIやIoT領域の求人情報サイト「Symbiorise（シンビオライズ）」を開設し、データ分析者を企業に紹介する等、デジタルマーケティング分野のサービスを拡充した。

出版分野

- ▷ Amazon Kindleを始めとした複数の電子書店に対し、同社が取次を行なう電子書籍取次事業において、配信数、ダウンロード数が順調に増加した。
- ▷ 中国での映像コンテンツの需要拡大を捉え、日本の原作を紹介し、現地で映像化する権利を仲介する海外版權エージェン트가伸長した。

建築分野

- ▷ 一級建築士を紹介するエージェンシー事業が堅調に成長した。特徴的な賃貸物件をプロデュースする「CREATIVE RESIDENCE®」の新シリーズである屋内ガレージ付きの戸建賃貸「STAPLE HOUSE」を開始し、オーナーからの引き合いが増加した。
- ▷ 2019年2月には、銀座三越にオープンしたイタリアンレストランの店舗デザインをプロデュースする等、約1,000社の設計事務所とのネットワークを活かした、建築プロデュース事業の実績を積み重ねた。

新たな分野への取り組み

- ▷ 演劇役者や落語家、歌手、マジシャン等の舞台や空間上で行なわれる芸術家のための「舞台芸術エージェンシー」事業を開始し、営業活動を展開した。プロの役者が企業研修における理念浸透を演劇で行なう「企業史演劇」をサービスとして開始する等、舞台芸術家の活躍の場を広げる営業活動を展開した。
- ▷ 2018年2月には生物学や化学等、ライフサイエンスの研究開発を補佐する研究開発支援者のエージェンシー事業を開始した。

クリエイティブ分野（韓国）

- ▷ 売上高：32百万円（前期は売上高986百万円）
- ▷ 営業損失：32百万円（前期は3百万円の営業利益）

前期第2四半期よりCREEK & RIVER ENTERTAINMENT Co.,Ltd.が、同社連結子会社から持分法適用関連会社に異動したことから、売上高および利益が前期を下回った。

同社と共同で、韓国の人気スマートフォンゲームを日本で配信する「日韓ゲーム共同パブリッシング事業」を2018年5月に開始し、ライセンス管理事業の立ち上げを図った。2018年8月より3D学園バトルロマンズRPG「フリージング エクステンション」を同社と共同で配信開始をした他、RPG「ファイブキングダムー偽りの王国ー」を株式会社リイカと共同で配信し、ダウンロード件数を順調に伸ばした。また、「ファイブキングダムー偽りの王国ー」のグローバル展開版「Ceres M（セレス エム）」の配信を、韓国から一部開始し、国内外での収益モデル構築に取り組んだ。

医療分野

- ▷ 売上高：3,709百万円（前期比4.2%増）
- ▷ 営業利益：533百万円（同7.3%減）

全国各地での慢性的な医師不足、地域的偏在を背景に、医師へのニーズは引き続き高く、医師の紹介事業が好調に推移し増収となった。利益面では、2018年9月に営業強化の観点から東関東支社を開設したことや、今後の成長に向けた人員の増強や広告宣伝費の戦略的投下等により、減益となった。

医療機関や自治体、医師や看護師の多様なニーズに応えるべく、医師の紹介事業を中心に、医学生・研修医を対象とした「レジナビフェア」、臨床研修情報サイト「レジナビ」、医師の転職・求人・募集情報サイト「Medigate（メディゲート）」、医師を対象に提供する教育プログラム「民間医局アカデミー」等のサービスを展開した。また、2018年9月に東関東支社を千葉県船橋市に開設し、全国16拠点の体制となった。

2018年8月には、帝京大学大学院公衆衛生学研究科と、公衆衛生分野における教育及び人材育成、キャリア支援を目的とした包括連携に関する協定書を締結し、労働者の健康保持やメンタルヘルス、過重労働の問題など、労働安全衛生に精通した人材を企業へ紹介するサービスを開始した。

会計・法曹分野

- ▷ 売上高：1,952百万円（前期比8.1%増）
- ▷ 営業利益：146百万円（同1.1%減）

会計・法曹分野における専門的な能力を有するプロフェッショナルへのニーズは堅調であり、売上高は前期を上回った。利益面では、人員増強を進めたことや広告宣伝費を戦略的に投下したこと等により、前期並みとなった。

関連各種団体との関係強化、クライアント企業・事務所との共同セミナーの開催等を通じ、業界内における認知度向上を図り、エージェンシー事業の拡大に努めた。

また、これまでに培ったネットワークを活かし、会計事務所やその顧問先の事業承継ニーズに対応すべく、「事業承継・M&A支援サービス」を本格的に開始した。また、多様な会計分野の働き方に対応するために、在宅で活躍する会計人材の紹介事業を行なう等、サービスを拡充した。

法曹領域では、世界中の弁護士を繋ぐSNSプラットフォーム「JURISTERRA（ジュリステラ）」に、「RECAIUS™（リカイラス）」の音声認識技術を活用した「音声書き起こしエディタ」の機能を追加する等、本格稼働に向けた開発を進めた。

その他の事業

- ▷ 売上高：1,881百万円（前期比29.0%増）
- ▷ 営業損失：150百万円（前期は83百万円の営業損失）

売上高については、IT分野におけるエージェンシー事業が伸長したこと等により、前期を上回った。利益面では、AI等の新たな市場への取り組みを強化したことにより、販売管理費等が増加し、前期を下回った。

- ▷ IT分野のエージェンシー事業を展開するリーディング・エッジ社では、ロボット・AI等、市場ニーズに合わせ、プログラム言語Pythonに精通した4,000名以上のエンジニア等のネットワークを構築し、IT技術者の採用や育成、紹介に取り組んだ。
- ▷ ファッション分野のエージェンシー事業を展開するインター・ベル社においては、不採算案件の見直し等事業基盤の再構築を進めるとともに、販売員の育成を強化した。
- ▷ 人材メディア事業を展開するプロフェッショナルメディア社においては、広告・Web業界専門の求人サイト「広告転職.com」と2018年7月に全面リニューアルした広告・Web領域の派遣求人サイト「クリエイティブ派遣.com」を中心としたメディア事業の収益基盤が整い、映像分野やファッション分野等同様のビジネスモデルを展開し、収益の多様化を図った。
- ▷ 連結子会社VR Japan社は、アイデアレンズ社の一体型VRヘッドゴーグルの国内での拡販を図るため、同社と共同でマーケティング活動を行なった。建設業界向けの「VR安全衛生教育サービス」を積極的に推進する等事業基盤の拡充を図った。
- ▷ AIを用いたシステムの企画・開発・販売・運用・保守事業を行なう連結子会社株式会社Idrasysは、インツミット社が開発したAIプラットフォーム（インテリジェントロボット）「SmartRobot™」の日本における事業展開を行った。「SmartRobot™」を活用した自動応答システムである「チャットボット」を中心に国内での販売活動を強化し、そこから得た情報によりAIを用いた日本向けシステムの研究や開発を進めた。
- ▷ データ分析サービス事業を展開する連結子会社エコノミックインデックス株式会社は、独自の分析手法で顧客に改善策を提案するデータ解析サービスやコンサルティングでの収益化に取り組むとともに、データ解析結果に基づくソリューションサービスを提供した。

今期会社予想

20年2月期会社予想 (百万円)	19年2月期			20年2月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期会予	下期会予	通期会予
売上高	14,819	14,751	29,569	16,400	16,600	33,000
前年比	4.5%	17.7%	10.7%	10.7%	12.5%	11.6%
売上原価	8,928	9,275	18,203			
売上総利益	5,891	5,475	11,366			
前年比	7.8%	16.4%	11.8%			
売上総利益率	39.8%	37.1%	38.4%			
販売費及び一般管理費	4,626	5,162	9,787			
売上高販管費比率	31.2%	35.0%	33.1%			
営業利益	1,265	314	1,579	1,300	1,050	2,350
前年比	1.5%	-44.0%	-12.6%	2.8%	234.4%	48.8%
営業利益率	8.5%	2.1%	5.3%	7.9%	6.3%	7.1%
経常利益	1,256	329	1,585	1,300	1,050	2,350
前年比	0.2%	-42.3%	-13.1%	3.5%	219.3%	48.2%
経常利益率	8.5%	2.2%	5.4%	7.9%	6.3%	7.1%
当期純利益	738	232	970	800	650	1,450
前年比	0.6%	-37.4%	-12.1%	8.4%	180.5%	49.5%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2020年2月期は、売上高33,000百万円（前期比11.6%増）、営業利益2,350百万円（同48.8%増）、経常利益2,350百万円（同48.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,450百万円（同49.5%増）を見込む。

売上高は堅調な成長を見込むとともに、利益面においてはグループ拠点の移転・集約等に伴う一時的費用がなくなることにより、増益となる見通しである。

セグメント別施策は次の通りである。

クリエイティブ分野（日本）

制作スタジオを活用したプロデュース事業の強化、同社独自のクリエイターの採用・育成によるエージェンシー事業の強化を図る。また、既存事業の成長に加え、新規事業（建築、ファッション、シェフ、プロフェッサー、ドローン、舞台芸術、リサーチャー、語学）への取り組みを強化し、収益化を図る。また、VRやAIなど新技術に対応するとともに、日本のコンテンツの海外市場での流通拡大を目指し、独自のライセンスビジネスを展開する。

クリエイティブ分野（韓国）

韓国のコンテンツの日本へのライセンス等、ライセンスマネジメント事業を展開する。

医療分野

医師へのニーズの高さから、引き続き医師の紹介事業を強化し、全国的な医師不足・地域的偏在への対応力強化をはかるため、人員の増強及び拠点の新設により、営業基盤の更なる拡充をはかる。また、医療分野の更なる発展のため、医療業界の情報・人材交流の場を提供する等、サービスを拡充し、更なるブランド力の強化を進める。

その他（IT・法曹・会計他）

IT分野

IT分野は、ロボット関連のプログラム言語Pythonに精通したエンジニアの採用・育成を中心として、ロボット・AI等市場ニーズに合ったエンジニアの輩出等の取り組みを強化するとともに、開発や受託等事業の拡大を進める。

会計分野

各種セミナー・イベント、「Accountant's Library」等を通じて、会計士・税理士等に対する知名度向上を図り、業界内でのブランドを確立する。会計事務所勤務経験者を対象とした「在宅ワーカー紹介サービス」等社会のニーズに適合したサービス開発を進め、収益力強化を目指す。

法曹分野

法曹のネットワーク強化を進め、業界内のプレゼンス確立を目指す。人員増強等により事業基盤を強化し、収益力の強化を目指す。また、世界中の弁護士のためのSNSプラットフォーム「JURISTERRA（ジュリステラ）」を通じて、事業の拡大を進める。

ファッション

インター・ベル社においては、アパレルメーカーとの豊富なネットワークと販売員育成ノウハウを活かして、人員増強と不採算案件の見直し等により事業基盤を強化し、収益力の強化を目指す。

その他

人材メディア事業を展開する株式会社プロフェッショナルメディアにおいては、広告・Web業界専門の求人サイト「広告転職.com」の収益力強化、他のプロフェッショナル分野にも同様のビジネスモデルを展開しサービスを拡充する。

株式会社VR Japanは、アイデアレンズ社の一体型VRヘッドマウントディスプレイ（HMD）「IDEALENS K2+」および今後発売予定のより解像度の高い新HMDの拡販を進める。

株式会社Idrasysは、インツミットが開発したAIプラットフォーム「SmartRobot™」の日本における事業展開のために、必要な製品の開発やサービスの強化を図り、AIを用いた様々な日本向けシステムの研究や開発を進める。

データ分析サービス事業を展開するエコノミックインデックス株式会社は、独自の分析手法で顧客に改善策を提案するデータ解析サービスやコンサルティングによる収益化に取り組む。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp